

平成26年松本市議会第2回臨時会
市長提案説明

[26.10.29(水)AM10:00]

本日ここに、平成26年松本市議会第2回臨時会を招集いたしましたところ、議員の皆様方には、おそろいでご出席をいただき、厚く御礼を申し上げます。

さて、松本の秋を彩る恒例のイベント、「信州・松本 そば祭り」、そして「信濃の国 楽市楽座」が、今年も無事、成功裏に終了いたしました。

改めまして、開催に当たりご尽力を賜りました関係の皆様方に、この場をお借りして感謝と御礼を申し上げます。

今年で11回目を迎えた「信州・松本 そば祭り」は、松本城公園を中心に、今月11日から3日間開催され、最終日の13日は台風19号の影響もありましたが、前半2日は好天に恵まれたこともございまして、3日間で延べ11万9,000人もの多くの皆様にご来場いただきました。

また、その翌週の18日、19日の2日間にわたり、信州スカイパークやまびこドームを主会場とし、「子ども」と「健康」をテーマとした企画を充実して開催されました、「第25回信濃の国 楽市楽座」も、2日間で延べ11万4,500人の皆様にご来場をいただき、信州松本の秋を楽しんでいただきました。

ご案内の如く今年の夏は、7月の台風8号の影響や、JR中央西線の一部区間が、約1カ月にわたり不通となりましたことや、8月に入りましても、台風の影響により天候不順の日が続くなど、山岳観光地を始め、市内各地では、思うように客足が伸びない状況もあったわけですが、お陰様で秋のイベントには大勢のお客様においでいただき、まちの賑わい創出や地域の活性化に大変寄与いただいたものと、ありがたく思う次第でございます。

来月3日の文化の日には、今年で57回目を迎えます「市民祭松本まつり」が、中心市街地を歩行者天国にして開催されますので、皆様、ご家族お揃いでお出かけいただければと存じます。

さて、議案の提案説明に先立ちまして、今後、松本市が取り組む

予定の施策等について、若干申しあげたいと存じます。

国におきましては、第187回臨時国会において、地方創生関連の法案が審議されております。

ご承知のように、この「地方創生」は、安倍内閣が最重要課題として掲げ、少子高齢化と人口減少が進む中、地方の個性を尊重し、活気あふれる自主的な取組みを、新たな支援策により国が後押ししていくものとされておりますが、現段階におきましては、具体的な施策は不明確であり、今後、法案の成り行きと、国が示す施策の動向を注視していく必要があると考えております。

国がうたう「地方創生」が、中央から地方に向けたものではなく、地方から発信する、真の「地方創生」になり得るものであれば、これは、まさに、これまでフロントランナーとして、松本オリジナルの持続可能なまちづくり、「健康寿命延伸都市・松本」の創造に取り組んでまいりました松本市にとりましては、更なるチャンスとなるものでございます。

私といたしましては、今後もぶれることなく、「健康寿命の普遍化」を目指し、部局横断の取組みにより松本らしい施策を、国に対して積極的に提案、発信してまいりたいと考えております。

次に、この度、松本市が、国土交通省による平成26年度の、「まち・住まい・交通の創蓄省エネルギー化モデル構築支援事業」の採択を受けたことについて申しあげます。

この事業は、地域において「低炭素・循環型社会の構築」を目指すまちづくりを、推進していくための構想を策定するに当たり、有識者や国土交通省が委託する外部の専門機関から、情報提供や助言等の支援を無償で受けるものでございます。

今回、採択を受けて取り組む事業の内容は、四賀地区において、伐採木を活用した木質バイオマスや、日照時間の長さを生かした太陽光発電、並びに持続可能な中山間地域の交通体系などについて、その技術的な可能性や具現化について調査・研究を行い、住民の皆様と共にまちづくりの構想を策定するものでございます。

地域の特性を生かし、地域住民が自ら「創エネ」「畜エネ」「省エネ」化に向けて取り組んでいくことは、将来の中山間地域の雇用や産業の活性化に結びついていくものと考えております。

今回の採択を一つの契機といたしまして、住民主体の地域づくりの

モデル事業として、全市的に波及していくことを大いに期待するところでございます。

さて、私は、去る5日から9日まで台湾を訪問し、国際会議での発表や高雄市長との会談など、トップセールスを行ってまいりましたので若干報告申し上げます。

まず、台北市で開催されました健康リテラシー・ヘルスプロモーション国際会議では、大学関連の研究者や行政関係者、併せて医療関係者並びに大学生の皆さんを対象に、会議本部より依頼された松本市の「健康寿命延伸都市」の取組みを紹介してまいりました。

国際会議という場でありますことから、発表後の質疑も含め、すべて英語によるものでございました。

他国の研究者による発表の多くが、「国や地域、年齢、性別、収入などによる健康格差をなくし、すべての人々が健康意識を高め、平均寿命を延ばす」ことに力点をおいたものであった内容に対し、私の発表した松本市の取組みは、「平均寿命から健康寿命へ」と、意識をシフトさせる先進的な試みとして、海外の参加者から高い評価をいただくことができました。

次いで、会議への参加後に訪問した高雄市では、「観光セミナー」を松本観光コンベンション協会との共催により初めて開催し、高雄市内の主要な旅行会社15社を始め、航空会社2社、高雄市観光局の皆様など22名をお招きし、松本市の魅力をアピールしてまいりました。

参加された皆様からは、高雄市で開催される旅行博などへの出展を増やし、「松本」をもっと宣伝すべきであること、また、高雄と松本を結ぶ空路の充実を求める意見をいただくなど、関心も高く、私自身としても手応えを感じたところでございます。

今後は、松本向けの旅行商品の造成など、誘客を図る具体的な取組みに期待をしております。

また、陳菊高雄市長との会談におきましては、私からは、両市の友好を次世代に繋げていくため、中学生同士による教育交流の実現を申しあげ、陳菊市長からは、観光交流のほか、高雄市においても、今後、急速に進展するおそれのある、少子高齢化問題への対応が課題であるとのことから、松本市の「健康寿命延伸都市」の取組みを参考に、高齢者交流も進めていきたいとのお話を伺いました。

私は、このように、まずは、お互いの共通の課題を見出すことが、都市間交流の始まりであると考えております。

今後も、できるところから、慎重に、かつ、着実に進めてまいり所存であります。

それでは、ただいま上程されました3件の議案につきまして、ご説明申し上げます。

はじめに、平成25年12月定例会で議決されました、「工事請負契約の締結」についての議決更正2件について申し上げます。

まず、「平成25年度市道5510号線平田橋上部工工事」の請負契約につきましては、労務単価や資材単価の上昇に伴い、請負金額が増額となりますことから、今回、議決更正をお願いするものでございます。

次に、「(仮称)松本市白板地区公民館新築主体工事」の請負契約につきましては、基礎工事の施工中に、地中から廃棄物が発見され、この処分を前の土地所有者の負担により行っていた期間、新築主体工事が停止してしまいましたことから、工期を延長するとともに、これに伴い、現場管理費などが増え、請負金額が増額となりますことから、議決更正をお願いするものでございます。

次に、財産としましては、「松本城南・西外堀復元事業用地」の取得を提出しております。

このほか、議案以外のものとしたしまして、市長の専決処分事項の指定にかかわる報告5件を、報告いたしております。

以上、本日提案いたしました議案等について、ご説明申し上げますので、よろしくご審議を賜りますよう、お願い申し上げます。

(以上)